

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 25日

事業所名 放課後等デイサービス れいるd

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%	利用人数に応じ、2つの大部屋の配置人数を調整したりパーティションでエリアを区切っています。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	0%	各部屋に必ず職員がいるように配置しています。規定以上の配置が出来ています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	20%	60%	20%	玄関入り口の段差や2階への階段の利用時には都度子ども達に声掛けするようにしています。階段使用の安全確保が課題だと感じます。雨天時、玄関での転倒防止にタオルなどを敷いて対応しています。	階段の上り下りでは職員が一緒に行動するなどしていますが、階段など目立つ滑り防止や、段差保護を設置するなどして対応していきたいと思います。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	ミーティング時に活動内容と合わせ、具体的手順等を確認しています。昼礼、ケース会議、月例会議等で協議しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	避難訓練実施を周知しました。	アンケートで頂いた意見や日頃のやり取り等で知り得た情報を基に、日々、支援、環境作り等見直しをしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	見やすい場所へ掲示しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	80%	20%	0%		評価はしてもらっていませんが、連携法人の事業所から部門会議への参加をしてもらい意見をいただいています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	研修に参加出来ています。 (虐待、支援向上ほか) スペシャルラーニングを活用しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	60%	40%	0%	子どもに合った課題を分析して準備しています。直接面談もしくは書面聞き取りで半年ごとに対応しています。	それぞれのニーズを細かく抽出できるように共通アセスメントシートの他に独自のニーズ整理ができるシステムを作りたいです。

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	60%	40%	0%		放課後等デイサービス連絡会で作成した共通様式を使用して、追加情報が必要な場合は独自で把握していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	事業所会議などで皆で話し合いが来ています。活動計画に子どもや職員の意見を取り入れています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	マンネリ化しないように工夫しています。月例で振り返りを行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	20%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	昼礼を必ず行い、活動内容、送迎、休みなどの確認をしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%	0%	気付いたことは昼礼時に皆で話し合っています。前日の振り返りを行っています。	支援終了後に振り返りが出来ないのので、翌日の昼礼で打ち合わせも含め行い、共通理解に努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	20%	0%		毎日の打合せでヒヤリハットなど気付いた事を全職員で話し合っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	全職員で見直しし、支援に反映しています。半年毎にケース会議を行い、検討しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	40%	60%	0%		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」全てを組み合わせ支援しています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	80%	20%	0%		今後、担当職員を決めるなどして特定の職員のみではない参画も考えていきたいと思えます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	80%	20%	0%	学校や各家庭との連絡・情報共有を送迎時に話をしています。	都度、相談させてもらっています。行事予定の直接的な交換は行っていませんが保護者の方からの情報やHP情報で把握しています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	60%	40%	0%		受入れが出来る体制を整えていないですが、体制が取れた場合は、連携体制を作りたいと思います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	60%	40%	0%		中高生を対象としているため、未就学児の事業所からの移行は無いですが、別の放課後等デイサービスからの移行時には、ケア会議等で情報の共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	80%	20%	0%	移行先の事業所と、支援内容など情報を共有、提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%	0%		研修の機会を逃さないようにし、参画できるようにしたいです。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	40%	60%	交流や一緒にの活動は行っていません。	保護者の方の意見を聞き取りながら、交流の機会の設定を考えていきたいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	40%	20%	40%		放課後等デイサービス連絡会に毎回参加し他法人事業所との情報共有や連携を図っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	送迎の送り時に保護者と話をしています。 連絡帳を介し、状況を伝えています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	40%	20%	40%		ペアレントトレーニングの実施は出来ていないので、研修に参加するなどして進めていきたいです。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	60%	40%	0%		契約時に伝えていきます。変更があった場合は都度、お知らせしていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	0%	土曜開所の時に交流できる環境を設定しました。(卒業生の保護者の方と卒業後について)	

者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	全職員で話し合い、対応しています。 毎月1回会議を行い、保護者などからの苦情、要望を確認し対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	定期的に広報の発行をしています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	20%	80%	招待は行ってませんが、クリーン活動で地域周辺を回っています。 作品展への出展を行っています。	事業所へ招待することは行っていませんが、地域活動へ参加し、事業所の存在を伝えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	60%	40%	0%		マニュアルの作成はしており、職員への周知は出来ていますが、保護者の方への周知が不十分なので、周知方法を見直し発信していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	地震、水害、火災の訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	全職員の研修参加や、スペシャルラーニングで対応しています。	
	41	このままの場合に子どもを身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	40%	40%	20%		対応が必要な場合もあるかもしれないので、説明、了承、記載も視野に入れていきたいと思っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	アレルギーを持つ子どもへ配慮しています。 アレルギー表の作成をし、確認しやすい場所へ掲示しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	80%	20%	0%		事例集の作成はありませんが、全職員で常時、事例を出して検討しています。